

サステナビリティレポート 2005 の特徴

(1) 社長インタビュー ( 4 ~ 6 頁 )

持続可能な社会の実現に向けた東京電力の社会的責任について、社長インタビューとしてご紹介しております。

(2) 特集 ( 7 ~ 14 頁 )

当社の社会的責任に関する取り組みとして、「地球温暖化防止に向けた取り組み」、「安全・快適なライフスタイルの提案」、「災害時における電力供給・ライフラインの確保」という3つの取り組み事例をご紹介しております。

(3) 本編構成 ( 15 ~ 62 頁 )

企業の持続可能性報告書の国際基準である G R I ガイドラインを参考に、「経営編」「環境編」「社会編」という3つの側面から当社の取り組みをご紹介しております。特に「社会編」については、お客さまや地域社会、社員など、幅広いステークホルダーとのコミュニケーション活動について内容を充実しました。

(4) 「原子力編」の新設 ( 63 ~ 73 頁 )

N P O 代表者の方と当社役員との対談を通じて、社会の皆さまの原子力発電に対する疑問にお答えするとともに、当社の考え方や取り組みをご紹介しております。また、立地地域代表の方のご意見や、原子力発電所で働く地元出身の社員および協力会社社員の声も掲載しております。

(5) 第三者レビュー ( 74 ~ 79 頁 )

昨年に引き続き、社外有識者により構成する「東京電力環境顧問会」に加え、N P O 代表の方からも、本レポートに対するご意見をいただきました。また、昨年度に当社が参加した環境経営格付機構による「2004 年度環境経営(サステナブルマネジメント)格付」の結果もご紹介しております。

(6) 環境負荷の低減

製本にあたり、尾瀬に敷設している木道を紙パルプの原材料としてリサイクルした「尾瀬の木道エコペーパー」を採用し、尾瀬の自然環境保護と資源循環の両立を目指しました。

以 上